

2-4 これからの新宿区の文化芸術の振興における課題

振興会議では、今期の調査審議事項を通して、新宿区の文化芸術の振興を確実に進めるためには、文化芸術活動団体間の連携や、企業や地域等を大きく取り込んでいくことが考えられます。そのためのマネジメントやコーディネーション機能をどのように強化していくかが今後の課題であると認識しました。

文化芸術活動団体には、それぞれの目的があり、関わり方や活動する人々の構成も様々です。これらの団体が相互連携し、ネットワークを構築し、その活動を更に発展させるためには、それぞれの課題に適した専門的な助力が必要となってくるので、文化芸術の振興に関する専門性やノウハウを持った様々な機能をより強化することが求められます。

区民、団体、学校、企業、行政等、およそ文化芸術活動の担い手になり得る多くの主体が、自らの役割を果たしていくとともに、互いのネットワークを広げていくことで、新宿の文化芸術の振興を継続的に実践し、「文化芸術創造のまち 新宿」の実現につなげていくために、今後も様々な取り組みについて審議を重ねていくことが必要です。

3 新宿区文化芸術の振興に関する懇談会で提言された28項目への取組状況について

以降のページで展開する図解の例

提言

「新宿区文化芸術の振興に関する懇談会報告書（平成21年10月）」で示された提言内容です。

提言実現に向けて

取り組みの方向性

提言実現に向けた取り組みの方向性を第一回振興会議で確認しました。

具体的な取り組み

これまで（平成23年度まで）の主な取り組み

条例で規定する「私たち区民」による文化芸術活動として、これまでの主な取り組みを確認しました。

平成24年度以降の取り組みの方向性

これまでの主な取り組みを踏まえて、今後の取り組みの方向性を確認しました。

3-1 まちの記憶を継ぐ・活かす、まちへの愛着と誇りを育てる

提言

豊富な歴史・文化資源の情報の収集・整理・発信を行うためのアーカイブづくりと情報のネットワーク化

提言実現に向けて

取り組みの方向性

新宿歴史博物館のデジタル資料の公開と区文化資産ホームページのリンクを基本としたアーカイブづくり、図書館・大学・博物館資料等とのネットワーク化

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

新宿歴史博物館写真資料データベース作成（4,713点）、公開用写真デジタルアーカイブの構築（137点）・資料検索サイトでの公開、写真資料のデジタル化（8,398点）

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

新宿歴史博物館写真資料データベース及び公開用写真デジタルアーカイブの運用、資料検索サイトでの活用、未対応写真資料のデジタル化等による情報のネットワーク化の推進

提言

新宿のまち全体を博物館に見立てたフィールドミュージアムづくり

提言実現に向けて

取り組みの方向性

「私たち区民」による地域資源の掘り起こしと現地での顕彰、情報発信の仕組みを組み合わせたフィールドミュージアムづくり

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

- ①第3回新宿区文化芸術振興会議（6/16開催）での「新宿フィールドミュージアム実現に向けての考え方の整理(※)と新宿区第二次実行計画への反映
※区内を10のエリアに分け、文化財、歴史的建造物、近現代遺産、歴史上の人物ゆかりの地、博物館・美術館、地名等、豊かな歴史文化遺産等を活用した新宿の魅力を再発見する取り組みの推進（歴史発見型フィールドミュージアム）
- ②「五感で楽しむ新宿観光ガイドブック」（平成24年度改訂版）への反映、新宿区地域文化財制度の創設と「末広亭」等15件の地域文化財の認定、「矢来能楽堂」等7件の国登録有形文化財への登録

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

- ①区内の2地区で、歴史文化資源の掘り起こしや資源整備・現地顕彰の推進し、文化財・歴史的建造物・近現代遺産・歴史上の人物ゆかりの地・博物館・美術館・地名等、豊かな歴史文化遺産等を活用した新宿の魅力を再発見する取り組みの推進
- ②指定文化財、登録文化財、地域文化財等のフィールドミュージアム資源を「五感で楽しむ新宿観光ガイドブック」に反映し、まち歩きツアー等の実施による歴史文化遺産を発信

提言

豊かな歴史・自然に配慮した景観形成によるまちづくり

提言実現に向けて

取り組みの方向性

新宿区景観まちづくり計画における「粋なまち神楽坂地区」の区分地区の範囲拡大

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

新宿区景観まちづくり計画における「粋なまち神楽坂地区」の区分地区の範囲拡大

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

「地域の景観特性に基づく区分地区」のうち、新たに「新宿駅東口地区」の追加指定に向けた素案の策定

提言

募金・寄付金等による国民的文豪等の活動の足跡の保存・整備・ネットワーク化

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①（仮称）中村彝アトリエ記念館の用地取得とアトリエ記念館の整備
- ②漱石山房復元に向けた課題整理と募金・寄付金等の仕組みづくり

具体的な取り組み

これまで（平成23年度まで）の主な取り組み

- ①中村彝アトリエの整備計画（実施設計）のまとめ（代表作を描いた最初期（大正5年）のアトリエ復元）
- ②漱石山房復元に向けての基礎調査の実施・まとめ（漱石山房の間取り、書斎・客間を中心とした什器・調度品等を主たる調査事項とした文献調査、博物館・文学館等へのアンケート調査・訪問調査、親族等へのインタビュー調査の実施とまとめ）

平成24年度以降の取り組みの方向性

- ①平成24年第二回区議会定例会での「中村彝アトリエ記念館設置条例」制定、中村彝アトリエ記念館の整備・運営
- ②学識経験者や区民等による「（仮称）「漱石山房」記念館整備検討会」の設置、漱石山房復元のあり方についての検討

提言

- ・新宿のまちを再発見するシティガイド、まち歩きツアーの実施・充実
- ・文化芸術団体・学校・地域をつなぐ文化面からのコーディネートの実施・強化

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ・新宿のまちを再発見するシティガイド、まち歩きツアーの実施・充実
- ①新宿まち歩きガイド運営協議会参加団体によるまち歩きガイドの実施
 - ②ガイド研修の実施による区民ボランティアの養成

③新宿まち歩きガイド運営協議会参加団体の提案による区内ガイドコースの開発、鉄道事業者との連携によるまち歩きツアーの実施等

・文化芸術団体・学校・地域をつなぐ文化面からのコーディネートの実施・強化

①公益財団法人新宿未来創造財団による歴史・文化・芸術等の文化芸術ボランティアの育成と人材バンクへの登録、活動団体の組織化・ネットワーク化

②人材バンク登録者・登録団体と活動の場をつなぐコーディネートの実施

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

新宿まち歩きガイド運営協議会及び協議会参加団体によるまち歩きツアーの実施（33回実施・696名参加）、「観光まちづくり実行委員会」による四谷エリアの観光ガイド実施に向けた観光ポイントの発掘及びコースづくり、公益財団法人新宿未来創造財団による「新宿ぶらり散歩塾」の実施（9回実施・259名参加）、都電荒川線100周年と連動させたまち歩きツアー「都電で巡る漱石の足跡」・「文豪漱石の足跡を訪ねて」の実施（76名参加 再掲）、来て・見て・楽しい新宿フィールドミュージアム2011の中でのまち歩きツアーの実施（239名参加 再掲）、歴史文化遺産を活用した新宿の魅力の再発見ツアーの実施（2回・28名参加）等

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

①新宿まち歩きガイド運営協議会及び協議会参加団体によるまち歩きツアーの実施、四谷エリアの「観光まちづくり実行委員会」作成の「四谷まち歩き手帖」による観光ガイドの養成、公益財団法人新宿未来創造財団による「新宿ぶらり散歩塾」、「歴史文化探訪」の実施等によるまち歩きツアーの実施・充実

②アーティストバンク、生涯学習指導者、支援者バンク、博物館ボランティア等人材バンクの整備・活用によるコーディネート機能の推進



末広亭（新宿区地域文化財）



矢来能楽堂
（国・登録有形文化財）



歴史文化遺産を活用した
新宿の魅力再発見ツアー

3-2 子どもの生きる力と豊かな心を育む

提言

子どもたちの育ちにあわせた文化体験プログラム等の参加体験の場と文化芸術鑑賞機会の確保、多文化とのふれあいの場の確保

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①公益社団法人日本芸能実演家団体協議会・NPO団体・観光協会・財団法人・新宿区等による子どもの文化芸術への参加体験の場の確保とプログラムの更なる充実
- ②友好都市交流や青年会議所等との連携による多文化とのふれあいの場の確保
- ③NPO団体の提案を受けての協働事業提案「新宿をふるさとに～乳幼児から始める文化活動発信事業～」の実施
- ④後援・共催による子どもを対象とした文化芸術活動への積極的な支援

具体的な取り組み

これまで（平成23年度まで）の主な取り組み

- ①絵本でふれあう子育て支援（乳幼児の健診時読み聞かせ・配本、健診対象約2400名中73%参加）、子どもの育ちにあわせた「モンゴル馬頭琴演奏」や「日本の伝承遊び」等の国際理解教育による鑑賞・体験の場の提供、子どもを対象とした文化体験プログラム（狂言など18プログラム実施・583名参加）、新宿ユース・プラスフェスティバル、レガス子どもクラブ事業による子どもミュージカル講座やキッズ伝統芸能等の実施
- ②友好都市児童生徒作品展の実施（新宿区・伊那市・レフカダ町253作品の参加）、多文化共生プラザでの子ども日本語クラス等の実施
- ③協働事業提案「新宿をふるさとに～乳幼児から始める文化活動発信事業～」の実施、平成24年度からの経常事業化に向けての予算編成（わらべうた体験事業（15回・子ども208名、保護者189名参加）、乳幼児文化体験事業（講座6回・延べ369名、観劇会2回・延べ202名参加）、教材制作講座（3回・延べ13名参加）、地域指導者養成講座（講座5回・延べ35名、講演会46名参加））
- ④芸協らくごまつり・1年1組パペットシアター・あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場の「音とリズムのピクニック」、「びりとブッチャーのクラウニングシアター」等への後援・共催等

平成24年度以降の取り組みの方向性

- ①絵本でふれあう子育て支援（乳幼児の健診時読み聞かせ・配本、健診対象約2400名）、保育園・幼稚園・子ども園・小学校・中学校等での子どもの育ちにあわせた鑑賞・体験の場の提供、子どもを対象とした文化体験プログラム、新宿ユース・プラスフェスティバルの開催、レガス子どもクラブ事業による子どもミュージカル講座等、子どもの文化芸術への参加体験の場の確保

- ②友好都市児童生徒作品展の開催（新宿区・伊那市・レフカダ町・東城区）、多文化共生プラザでの子ども日本語クラス等の実施等による多文化とのふれあいの場の確保
- ③協働事業提案「新宿をふるさとに ～乳幼児 から始める文化活動発信事業～」を「乳幼児文化体験事業」として新宿区の経常事業化（わらべうた体験・ワークショップ、乳幼児向け音楽劇の鑑賞、教材制作講座、地域指導者養成講座等の実施）
- ④子どもを対象とした文化芸術活動への後援・共催による支援

提言

学校教育における区内美術館や能楽堂等を活用した美術鑑賞、伝統文化理解教育等の推進（新宿区教育ビジョンより）

提言実現に向けて

取り組みの方向性

新宿区教育ビジョンを基本とした各学校における美術鑑賞、伝統文化理解教育等の推進

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

対話型美術鑑賞教室（35校実施）、小学校6年生対象の「音楽鑑賞教室」、「小学校音楽のつどい」・「中学校生徒演奏会」、「英語で遊ぼう」・「百人一首」等の「特色ある教育活動の推進（自国文化・他国文化への理解）」、「子ども読書活動の推進（司書派遣26校）」等の実施

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

対話型美術鑑賞教室の実施（39校予定）、小学生対象の音楽鑑賞教室・演劇鑑賞教室・小学校音楽のつどい等の実施、「特色ある教育活動の推進（自国文化・他国文化への理解）」、読み聞かせ講習会・読書塾等による「子ども読書活動の推進」の実施等による美術鑑賞・伝統文化理解教育等の推進

提言

文化芸術団体・学校・施設・地域をつなぐ文化面からのコーディネートの実施(文化コーディネーター)

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①公益財団法人新宿未来創造財団による歴史・文化・芸術等の文化芸術ボランティアの育成と人材バンクへの登録、活動団体の組織化・ネットワーク化
- ②人材バンク登録者・登録団体と活動の場をつなぐコーディネートの実施

具体的な取り組み

これまで(平成23年度まで)の主な取り組み

アーティストバンクへの登録・派遣(登録者:79名、活用件数:延38件)、人材バンクへの登録と登録者向けレベルアップ講座の実施(登録者:527名、活用件数:776件)

平成24年度以降の取り組みの方向性

アーティストバンク、生涯学習指導者、支援者バンク、博物館ボランティア等人材バンクの整備・活用によるコーディネート機能の推進

提言

まちへの愛着を育む子ども向け「新宿学」・「新宿探検隊」

提言実現に向けて

取り組みの方向性

新宿歴史博物館への受入れやレガ子どもクラブの取り組みを基本とした子ども向け「新宿学」・「新宿探検隊」プログラムづくり

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

レガス子どもクラブ、夏休み子ども講座や施設見学会の実施、新宿歴史博物館常設展・社会科見学の受入れ（1,188名）

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

レガス子どもクラブ、夏休みを中心に体験型・見学型講座の実施、新宿歴史博物館常設展・社会科見学の受入れ等



特定非営利活動法人
あそびと文化の NPO 新宿子ども劇場
乳幼児文化体験事業



損保ジャパン東郷青児美術館 対話型美術鑑賞教室



東京おもちゃ美術館 東京おもちゃまつり



芸能花伝舎
芸術体験ひろば（三味線を弾いてみよう！）

3-3

新宿からの文化芸術を創る・発信する、民（みんな）の力でつくられたまちを支える、新宿の街に人を惹きつける、新宿力のふたをあける（発揮）する、多様な人と人とをつなげる

提言

新宿のまちを劇場に見立てた街角や空間のプロデュース、ディスプレイ効果を意識した公共空間の活用

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①各種の実行委員会等からの文化芸術イベント等の企画提案の実現に向けた道路管理者・交通管理者・施設管理者等との積極的な調整とイベントの実現
- ②文化・芸能・スポーツの拠点としての大久保公園シアターパークの開園とテント劇場などでの積極的な活用
- ③新宿シティプロモーション推進協議会（新宿区観光協会・新都心新宿PR委員会・公益財団法人新宿未来創造財団・新宿区で構成）の立ち上げと協議会による公共空間活用事例の紹介、公共空間を活用したい主体と活用できる空間のコーディネートの実施、地域ポータルサイト「しんじゅくノート」を活用した情報発信・パブリシティの実施
- ④新宿区ホームページを活用した公共空間活用事例の紹介（可視化・顕在化の取り組みの推進）

具体的な取り組み

これまで（平成23年度まで）の主な取り組み

- ①各種の実行委員会等からの企画提案の実現と施設管理者等とのコーディネートの実施
⇒「新宿文化ロード2011」、「神楽坂まち飛びフェスタ2011」、「歌舞伎町イルミネーション2011」、「染の小道2012」等
- ②大久保公園シアターパークや歌舞伎町シネシティ広場を活用した屋外イベント等の実施
⇒「Re:animation2（リ・アニメーション2）」、「歌舞伎町ミュージックライブ」、「歌舞伎町アートサイト」等
- ③新宿シティプロモーション推進協議会の情報発信サイト「しんじゅくナビ」の活用、「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2011（文化月間）」・「染の小道2012」等のパブリシティの実施
(http://shinjuku.mypl.net/shinjuku_navi/)
- ④新宿区ホームページでの「『私たち区民』による文化芸術活動」の取組事例の紹介（90件）
(http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/bunka01_001003.html)

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

- ①各種の実行委員会等からの企画提案の実現と施設管理者等とのコーディネートの実施
- ②大久保公園シアターパークや歌舞伎町シネシティ広場を活用した屋外イベント等の実施
- ③新宿シティプロモーション推進協議会の情報発信ポータルサイト「しんじゅくナビ (http://shinjuku.mycl.net/shinjuku_navi/)」の活用
- ④新宿区ホームページでの「『私たち区民』による文化芸術活動」の取組事例の紹介 (http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/bunka01_001003.html)

提言

- 文化ウィーク(月間)の設定や新宿のまちぐるみによる文化芸術の発信（文化芸術団体、文化施設、学校、企業、文化人、芸術家等が協力した地域からの文化芸術の創造・発信）
- 大学・専修学校等の力を活かした文化交流・地域連携事業の実施
- 企業との連携による地域連携事業の実施
- 韓国文化院、国際交流基金等との連携による文化交流、地域連携事業の実施

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①継続的に文化・芸能・スポーツが発信・実施できる空間としての大久保公園シアターパークの整備・開園
- ②後援・共催等の積極的活用と実行委員会組織化のための支援・調整
- ③新宿シティプロモーション推進協議会による年間を通じた文化芸術振興の取組事例の紹介、文化芸術団体・施設・公共空間のコーディネートの実施、パブリシティの実施
- ④新宿区ホームページ等を活用した年間を通してのまちぐるみの文化芸術の取り組みの可視化・顕在化

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

協働事業提案・街角スポット活用事業（駅前、ひろば、ロビー、壁面、河川等の公共的空間（道路空間を除く）を活用した文化芸術振興の取り組みと地域の活性化）の採択⇒公益社団法人日本芸能実演家団体協議会からの提案

10月～11月を「文化月間」と設定し、多様な文化芸術活動団体により「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2011」を試行的に実施（28団体参加・52イベント実施）

- ①日韓児童作品展、「国際都市新宿 踊りの祭典2011」、「YOKOSO KYOGEN ～外国人のための狂言会」等の後援・共催（21件）
- ②韓国文化院の文化芸術イベント「日韓文学への誘い」・「漆の再発見」等の「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2011（文化月間）」での紹介、外国人コミュニティ団体等の参加する「しんじゅく多文化共生フェスタ」の企画・実施
- ③美術系大学の参加（延68校・150名）と企業支援を得た「学生クリエイターズ・フェスタ in 新宿2011」実行委員会の組織化とフェスタの実施
- ④多くの企業や団体の参加を得た新宿御苑での「みどりと文化の祭典G T F（グレーターウキョウフェスティバル）グリーンチャレンジのつどい2011」の実現等
- ⑤服飾系専門学校や企業等との連携による「新宿ファッションフィールド2011」の実施
- ⑥佐伯祐三アトリエ記念館やアダチ伝統木版画技術保存財団・展示場等、落合地域の博物館・記念館の参加する落合文化ネットワークの設立

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

協働事業提案・街角スポット活用事業（駅前、ひろば、ロビー、壁面、河川等の公共的空間（道路空間を除く）を活用した文化芸術振興の取り組みと地域の活性化）の実施による公共的空間の活用（公益社団法人日本芸能実演家団体協議会）

「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2011」でのアンケート結果や協議会での議論を踏まえ、文化芸術団体・文化施設・学校・企業等と一体となった「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2012」の本格実施

- ①多文化交流イベントの後援・共催、韓国文化院等の文化交流・地域連携イベント等の「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2012」での紹介
- ②外国人コミュニティ団体等の参加する「しんじゅく多文化共生フェスタ」の企画・実施
- ③大学・専門学校・企業等との協力による「新宿クリエイターズ・フェスタ2012」の実施
- ④多くの企業や団体の参加を得た新宿御苑での「みどりと文化の祭典G T F（グレーターウキョウフェスティバル）グリーンチャレンジのつどい2012」の実現等
- ⑤服飾系専門学校等との連携による「新宿ファッションフィールド2012」の実施
- ⑥四谷文化ネット及び落合文化ネットの推進、新宿文化ネットの設立

提言

- 新宿のまちや地域性・まちの記憶をテーマとしたプロ・アマ連携による舞台芸術等の創作・実演
- プロとアマをつなぐ芸術家・芸能実演団体等によるアマチュア活動の指導の推進

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①東京ギンガ堂による公募区民をキャストとした音楽劇「東京坊ちゃん」の実施
- ②公益財団法人新宿未来創造財団「人材バンク」への登録、活動団体の組織化・ネットワーク化を通じたプロ・アマ連携や指導の場の確保
- ③子ども音楽体験プログラム等を通しての区内小中学校等へのプロの音楽家等の派遣

具体的な取り組み

これまで（平成23年度まで）の主な取り組み

- アーティストバンクへの登録・派遣（登録者：79名、活用：延38件）、人材バンクへの登録と登録者向けレベルアップ講座の実施（登録者：527名、活用件数：776件）
- レガス子どもクラブによる新宿ミュージカル講座の実施（のべ参加者858名・マンマミーアほかを舞台発表）

平成24年度以降の取り組みの方向性

- ①アーティストバンク、生涯学習指導者、支援者バンク、博物館ボランティア等人材バンクの整備・活用
- ②ドレミクラブ事業（区立小学校へのアーティスト派遣）の実施による子どもの文化芸術体験への参加の機会の確保、アーティストの活動の場の提供

提言

区民や文化芸術団体等の活動支援や活動基盤の強化のための新たな仕組みづくり

提言実現に向けて

取り組みの方向性

- ①文化創造産業を対象とした創造資金融資制度の創設と相談・融資の実施
- ②文化芸術振興基金のあり方と有効性の検討

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

文化創造産業創業資金融資制度による映像制作事業者への融資（1件）

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

文化創造産業創業資金融資制度による支援

提言

文化芸術活動・文化的取り組みの顕彰

提言実現に向けて

取り組みの方向性

文化芸術団体等の文化芸術活動・文化的取り組みに対する顕彰制度のあり方の検討

具体的な取り組み

これまで（平成 23 年度まで）の主な取り組み

平成23年度「技の名匠」の認定（5名）・新宿区名誉区民としての選定（2名）

平成 24 年度以降の取り組みの方向性

「技の名匠」の認定等による文化的取り組みの顕彰・推進



新宿文化ロード 美濃和紙あかりアート



新宿ファッションフィールド 2011



YOKOSO KYOGEN ～外国人のための狂言会～



染の小道 2012 川のギャラリー

3-4 区内における文化芸術振興の拠点としてのこれからの新宿文化センターのあり方

提言

- 区民や文化芸術団体の練習・発表の場としての劇場やホール空間等の確保
- ホールや文化センターに蓄積された強みを活かした新宿文化センターのイメージ・発信力の強化
- 開設時の施設利用方針の緩和・見直し、より多くの区民に支持される公演の選択や入場者を意識した公演誘致、20代・30代の年齢層への認知度アップ
- 文化芸術団体の活用・発表の場、練習・稽古場の不足の声に応えた新宿文化センターの施設を積極的に提供していく仕組みづくり
- 大小ホール、展示室、会議室などをフルに活用する事業、文化月間・文化ウィークによる通し活用や提案型利用、文化センター界隈の施設の拠点として周辺施設と一体となった事業の展開
- 新宿の地域特性を活かした開館時間の拡大
- 鑑賞モニター・友の会・地域との連携など参加協働型の施設運営
- 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等、演目の特性に合わせた文化センターと区民ホール等との連携

提言実現に向けて

取り組みの方向性

新宿区立新宿文化センター条例及び同条例施行規則の改正による提言実現の取り組み、指定管理者との連携による提言の実現

平成23年度（第3期指定管理期間）からの新宿文化センターの運営の中での提言項目実現に向けての取り組み

具体的な取り組み

これまで（平成23年度まで）の主な取り組み

指定管理者（公益財団法人新宿未来創造財団）事業計画書による7つの提言実現の取り組み

- ①新宿文化センターのイメージ・発信力を強化するためのパブリシティの拡充、メディア・PR媒体の拡充、有識者の運営助言などによる戦略的なPRの実施
従来のイメージを越えた新ジャンル、多様なジャンルの舞台芸術の公演開催
 - ・「テンプテーションズ」の誘致、ジャズやサンポーニャ等
 - ・津軽三味線「吉田兄弟」、落語「新宿文化寄席」、狂言「新春名作狂言の会」
- ②より多くの区民に支持される公演の選択・誘致、20代・30代への知名度アップするための多彩な公演の誘致
 - ・「新宿ファッションフィールド」（応募127人、作品218点）
 - ・「国際都市新宿 踊りの祭典」（参加54団体、来場3,040人）
 - ・初心者が気軽に楽しめる「落語in和室」（10回 延264人）
- ③準登録団体制度の導入による練習・稽古場等の提供
文化芸術団体の活動支援、準登録団体制度の検討
 - ・利用料減額制度の適用 1,549件
 - ・利用者懇談会（平成24年2月23日開催）において、準登録団体制度、通し利用、提案型利用等について意見交換
- ④施設の一括利用、提案型利用の事業展開
 - ・「沖縄音楽フェスティバル」（新宿エイサーまつり大会委員会へ参画）
 - ・「新宿ファッションフィールド」の開催（服飾系専門学校の協力、区内企業の協賛）
- ⑤利用団体のニーズを取り入れた開館時間の拡大、年末年始開館への対応
 - ・「キングランアニソン紅白2011」（販売枚数993枚、来場956人）実施に合わせ、年末年始の試行的開館を実施
- ⑥友の会の設立、アンケートの充実による利用者要望の把握
 - ・友の会制度について、他ホールの実態調査および制度設計への反映（平成24年度に制度運用予定）
 - ・利用者サービス向上のための利用者懇談会アンケートの実施

⑦区内文化芸術団体や施設とのネットワークの構築

- ・新宿合唱祭「初夏に歌おう」・日本語スピーチコンテスト「しゃべれおん」などの区内団体との共同開催事業の実施

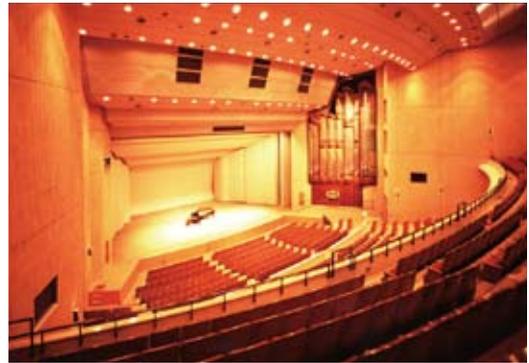
平成 24 年度以降の取り組みの方向性

平成23年度の主な取り組みを基本とした、指定管理者事業計画書7つの提言実現の取り組みの推進

- ①新宿文化センターのイメージ・発信力を強化するためのパブリシティの拡充、メディア・PR媒体の拡充、有識者の運営助言などによる戦略的なPRの実施
- ②より多くの区民に支持される公演の選択・誘致、20代・30代への知名度アップするための多彩な公演の誘致
- ③準登録団体制度の導入による練習・稽古場等の提供
- ④施設の一括利用、提案型利用の事業展開
- ⑤利用団体のニーズを取り入れた開館時間の拡大、年末年始開館への対応
- ⑥友の会の設立、アンケートの充実による利用者要望の把握
- ⑦区内文化芸術団体や施設とのネットワークの構築



新宿文化センター 外観



新宿文化センター 大ホール



落語 in 和室



国際都市新宿 踊りの祭典